

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		後期高齢者医療一般事務		20年度予算コード	1	整理番号	188	枝番号		
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	090510		昨年度 整理番号	337			
係名	高齢者医療係		連絡先 電話番号	1283						
上位施策名		No	104		後期高齢者医療事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		20年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 75歳以上及び65歳以上74歳で政令で定める障害のため認定を受けた高齢者に対し医療給付を行う。				根拠法令等 (1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2) 高齢者の医療の確保に関する法律施行令・規則 (3) 東京都後期高齢者医療広域連合規約				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	保険証の引渡し、加入や資格喪失届出、各種申請の受付。 保険料の徴収				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 国民の生活の質を維持・向上を維持し、その心身の特性や生活実態などを踏まえて、高齢者にふさわしい医療が受けられるようにする。				
	活動指標名(式)	(1) 後期高齢者医療被保険者数 (2) 後期高齢者医療事業会計分賦金のうち療養給付費負担金				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 被保険者1人当たり年間受診等件数 (2) 被保険者1人当たり年間医療費				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人		50,646	49,199	49,199	51,599	95.3		
	活動指標(2)	千円				2,587,965	2,587,965	0.0		
	成果指標(1)	件			36	36	36	100.0		
	成果指標(2)	円			774,702	778,702	782,314	99.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円		133,256	120,062	31,741	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円		0	0	0				
	(内) 委託費	千円		178,750	101,094	9,000				
	職員数(常勤   非常勤)	人		1.90   0.00	2.20   0.00	15.50   0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	17,366	20,108				141,670
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	0	150,622	140,170	173,411				
	単位あたりコスト( - )÷	円		2,974	2,849	3,525				
	財源	受益者負担分	千円							5,750,202
		国・都等からの支出金	千円		0	46,098				
特定財源計 +		千円	0	0	46,098	5,750,202				
差引: 一般財源 -		千円	0	150,622	94,072	▲ 5,576,791				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	3,315.9					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	後期高齢者医療準備		49,199	人	120,062					
	その他 ( )				0					

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 188 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	97.1	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	90.1
		後期高齢者医療被保険者証封入封緘委託、簡易申告書郵送料、広域連合端末専用回線使用料の未執行による残がある。制度創設の年度であり、区と広域連合の役割分担が判明しない時点での予算見積もりであったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		後期高齢者医療制度準備を行った。 20年度は、後期高齢者医療事業会計で予算を組んでいる。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	制度の周知不足もあり、被保険者ばかりでなく、現場の混乱をも招いた。次々に新たな指示が国等からあるので、早期に制度を定着させることが肝要である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	制度が分かりにくい。 保険料が高いと報道があり心配である。					
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由または具体的内容:後期高齢者医療制度により、保険制度が維持でき、高齢者が安心して医療をうけることができ、疾病の早期発見・治療に役立っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:後期高齢者医療制度の趣旨を区民が理解し、制度運営が軌道に乗ればできる。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:区民に制度を理解してもらうこと。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:区では保険料徴収は始まっていないが、保険料の新たな軽減策を与党PTが検討中					
(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容:スケールメリットを活かし、広域連合で印刷・封入封緘を行う。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 東京都後期高齢医療広域連合との協働					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 広域連合との役割分担により、区は保険料の徴収と申請等の受付と相談業務だったが、実際には従来の老人保健と同様のさまざまな業務が区の業務となっている。役割分担を明確にしていきたい。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 広域連合で決定していく為、区だけでは改革できない。特別区課長会で問題点等について検討しているが、今後は広域連合協議会部会等に職員も参加し事務のあり方について検討していく。	
	(1) 21年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 後期高齢者医療制度の趣旨の浸透が課題なので、PRや窓口・電話での説明を丁寧に行っていくとともに、保険料収納事務を確実に執行する。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		広域連合分賦金		20年度予算コード	1	整理番号	189	枝番号		
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	090510		昨年度 整理番号	337			
係名	高齢者医療係		連絡先 電話番号	1283						
上位施策名		No	104		後期高齢者医療事業の運営					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		20年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 75歳以上及び65歳以上74歳で政令で定める障害のため認定を受けた高齢者に対し医療給付を行う。				根拠法令等 (1) 高齢者の医療の確保に関する法律 (2) 高齢者の医療の確保に関する法律施行令・規則 (3) 東京都後期高齢者医療広域連合規約、杉並区後期高齢者医療に関する条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	保険証の引渡し、加入や資格喪失届出、各種申請の受付。 保険料の徴収				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 国民の生活の質を維持・向上を維持し、その心身の特性や生活実態などを踏まえて、高齢者にふさわしい医療が受けられるようにする。				
	活動指標名(式)	(1) 後期高齢者医療被保険者数 (2) 後期高齢者医療事業会計分賦金のうち療養給付費負担金				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 被保険者1人当たり年間受診等件数 (2) 被保険者1人当たり年間医療費				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人				49,199	51,599	0.0		
	活動指標(2)	千円				2,587,965	2,587,965	0.0		
	成果指標(1)	件				36	36	0.0		
	成果指標(2)	円				778,500	782,314	0.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円		87,053	77,948	9,444,554	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円		0	0	0				
	(内) 委託費	千円		0	0	0				
	職員数(常勤   非常勤)	人		0.10   0.00	0.30   0.00	0.50   0.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	914	2,742				4,570
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	0	87,967	80,690	9,449,124				
	単位あたりコスト( - ) ÷	円				192,059				
	財源	受益者負担分	千円							5,750,202
		国・都等からの支出金	千円			46,098				
特定財源計 +		千円	0	0	46,098	5,750,202				
差引: 一般財源 -		千円	0	87,967	34,592	3,698,922				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	60.9					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	東京都後期高齢者医療広域連合への事務費分賦金の支出		49,199	人	77,948					
	その他 ( )				0					

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 189 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	89.5
		後期高齢者医療被保険者証封入封緘委託、簡易申告書郵送料、広域連合端末専用回線使用料の未執行による残がある。制度創設の年度であり、区と広域連合の役割分担が判明しない時点での予算見積もりであったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		後期高齢者医療制度準備を行った。 20年度は、後期高齢者医療事業会計で予算を組んでいる。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	制度の周知不足もあり、被保険者ばかりでなく、現場の混乱をも招いた。次々に新たな指示が国等からあるので、早期に制度を定着させることが肝要である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	制度が分かりにくい。 保険料が高いと報道があり心配である。					
	今後の予測						
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由または具体的内容:後期高齢者医療制度により、保険制度が維持でき、高齢者が安心して医療をうけることができ、疾病の早期発見・治療に役立っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ )	理由または具体的内容:後期高齢者医療制度の趣旨を区民が理解し、制度運営が軌道に乗ればできる。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:区民に制度を理解してもらうこと。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:区では保険料徴収は始まっていないが、保険料の新たな軽減策を与党PTが検討中					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容:スケールメリットを活かし、広域連合で印刷・封入封緘を行う。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 東京都後期高齢医療広域連合は区の一部と考える為。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 広域連合との役割分担により、区は保険料の徴収と申請等の受付と相談業務だったが、実際には従来の老人保健と同様のさまざまな業務が区の業務となっている。役割分担を明確にしていきたい。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 広域連合で決定していく為、区だけでは改革できない。特別区課長会で問題点等について検討しているが、今後は広域連合協議会部会等に職員も参加し事務のあり方について検討していく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 後期高齢者医療制度の趣旨の浸透が課題なので、PRや窓口・電話での説明を丁寧に行っていくとともに、保険料収納事務を確実に執行する。	